



2021年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月7日

上場会社名 株式会社 京進

上場取引所 東

コード番号 4735 URL <https://www.kyoshin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福澤一彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長兼経営企画部長 (氏名) 松本敏照

TEL 075-365-1500

四半期報告書提出予定日 2021年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第2四半期の連結業績(2020年6月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第2四半期	11,317	0.7	46	86.8	208	43.1	32	73.7
2020年5月期第2四半期	11,237	14.4	354	34.1	366	33.3	122	53.8

(注) 包括利益 2021年5月期第2四半期 12百万円 (91.0%) 2020年5月期第2四半期 137百万円 (49.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第2四半期	4.15	
2020年5月期第2四半期	15.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第2四半期	21,709	3,605	16.6	463.14
2020年5月期	23,047	3,743	16.2	480.84

(参考) 自己資本 2021年5月期第2四半期 3,605百万円 2020年5月期 3,743百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期		0.00		19.28	19.28
2021年5月期		0.00			
2021年5月期(予想)				0.40	0.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細は、2021年1月7日発表の「2021年5月期の業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日～2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,092	4.8	33		175		10	97.9	1.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、2021年1月7日発表の「2021年5月期の業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期2Q	8,396,000 株	2020年5月期	8,396,000 株
期末自己株式数	2021年5月期2Q	610,258 株	2020年5月期	610,258 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年5月期2Q	7,785,742 株	2020年5月期2Q	7,785,742 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2~3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」および2021年1月7日発表の「2021年5月期の業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初、雇用情勢・所得環境の改善の継続等、景気は緩やかな回復基調の兆しがみられたものの、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響により急激に経済状況が悪化し、厳しい状況下で推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は11,317百万円（前年同期比0.7%増）となり、前年同期に比べ79百万円増加しました。営業利益は46百万円（同86.8%減）となり、前年同期に比べ308百万円減少しました。経常利益は208百万円（同43.1%減）となり、前年同期に比べ158百万円減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は32百万円（同73.7%減）となり、前年同期に比べ90百万円減少しました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

<学習塾事業>

学習塾事業においては、感染症拡大防止のための休講の影響で、2020年春の入室生は大きく減少したもののオンライン授業など代替の施策を展開し、業績への影響を最小限にとどめることができました。当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、売上高は5,463百万円（前年同期比2.1%減）と前年を下回ったものの、経費の圧縮等によりセグメント利益1,144百万円（同2.0%増）となり、減収増益となりました。

<語学関連事業>

英会話事業においては、国内の英会話教室は春の休講の影響で入室数が減少しておりましたが、2020年6月以降の入室は前年並みに回復しました。オーストラリアの英会話学校は入国制限の影響で生徒数が減少しました。日本語教育事業においては、入国制限により2020年4月から10月の入学予定者が日本に入国できず、自国待機していた影響で生徒数の増加が鈍化しました。2020年10月以降、留学生の入国が可能となり、10月までに入学する予定であった留学生が順次入国しております。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、生徒数の減少により売上高1,166百万円（同30.9%減）、セグメント損失399百万円（前年同期に比べ229百万円の損失増加）となりました。

<保育・介護事業>

保育事業では、2020年8月にHOPPA津田沼ザ・タワー園を開園し、当社グループ及び連結子会社の保育園の園数は88園となりました。当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、顧客数の増加により、売上高4,691百万円（同18.4%増）となりましたが、2020年の保育園開園による人件費、減価償却費、採用費の増加が、売上高の増加を上回り、セグメント損失174百万円（前年同期に比べ176百万円の損失増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、21,709百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,337百万円減少しました。流動資産は、4,831百万円となり、1,629百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少1,657百万円等です。固定資産は、16,878百万円となり、前連結会計年度末に比べ292百万円増加しました。有形固定資産は、12,146百万円（前連結会計年度末に比べ283百万円増加）となりました。主な要因は、リース資産の増加513百万円等です。無形固定資産は、1,966百万円（前連結会計年度末に比べ120百万円減少）となりました。主な要因は、のれんの減少150百万円等です。投資その他の資産は、2,764百万円（前連結会計年度末に比べ128百万円増加）となりました。主な要因は、繰延税金資産の増加43百万円、敷金及び保証金の増加64百万円等です。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、18,103百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,200百万円減少しました。流動負債は、8,335百万円となり、1,314百万円減少しました。主な要因は、短期借入金の減少1,559百万円等です。固定負債は、9,767百万円となり、114百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の減少390百万円、リース債務の増加527百万円等です。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,605百万円となり、前連結会計年度末に比べ137百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の減少117百万円、為替換算調整勘定の減少25百万円等です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末16.2%から0.4ポイント上昇し16.6%になりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより3,068百万円となり、前第2四半期連結会計期間に比べ、434百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益173百万円、減価償却費436百万円、のれん償却額153百万円、法人税等の支払額92百万円等が発生しました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは、815百万円の収入（前年同期は1,010百万円の収入、前年同期に比べ194百万円の収入減少）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出171百万円、無形固定資産の取得による支出56百万円、敷金及び保証金の差入による支出71百万円等が発生しました。この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは、317百万円の支出（前年同期は818百万円の支出、前年同期に比べ500百万円の支出減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減額1,559百万円、長期借入れによる収入400百万円、長期借入金の返済による支出830百万円、配当金の支払額149百万円が発生しました。この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは、2,178百万円の支出（前年同期は743百万円の支出、前年同期に比べ1,434百万円の支出増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、国内の日本語学校への海外からの留学生の入学停止や、オーストラリアでの英会話学校の留学生の入学停止など、大きく影響を受けました。オーストラリアでは依然として入学規制が継続され、留学生の入学ができないものの、国内の日本語学校では、2020年10月以降、徐々に留学生の来日が可能になり、適宜入学を進めました。今後の入学制限の状況は不透明ではありますが、留学生の入学状況が改善していくことを前提として、2021年5月期の見通しができましたので、通期業績予想を発表いたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,053,713	3,395,950
売掛金	708,062	753,450
商品	76,419	65,393
貯蔵品	16,518	18,104
その他	641,044	627,812
貸倒引当金	△34,779	△29,694
流動資産合計	6,460,979	4,831,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,035,509	6,775,210
土地	2,780,127	2,779,384
リース資産(純額)	1,573,728	2,086,896
建設仮勘定	5,331	106,987
その他(純額)	467,813	397,956
有形固定資産合計	11,862,510	12,146,435
無形固定資産		
のれん	1,802,351	1,652,339
その他	285,245	314,596
無形固定資産合計	2,087,597	1,966,935
投資その他の資産		
投資有価証券	104,921	102,862
繰延税金資産	836,081	880,060
敷金及び保証金	1,527,256	1,591,962
その他	169,415	191,686
貸倒引当金	△1,671	△1,656
投資その他の資産合計	2,636,003	2,764,916
固定資産合計	16,586,111	16,878,288
資産合計	23,047,090	21,709,306

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	89,343	82,304
短期借入金	4,759,869	3,200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,546,970	1,507,259
リース債務	75,595	87,369
未払金	758,309	765,016
未払法人税等	146,971	285,272
前受金	1,178,848	1,251,091
賞与引当金	105,448	109,795
資産除去債務	10,791	26,891
その他	977,850	1,020,640
流動負債合計	9,649,998	8,335,641
固定負債		
長期借入金	4,558,895	4,168,328
リース債務	1,717,483	2,245,102
退職給付に係る負債	1,794,772	1,816,792
役員退職慰労引当金	219,410	227,145
資産除去債務	355,836	348,920
繰延税金負債	906,613	845,890
その他	100,405	115,572
固定負債合計	9,653,417	9,767,753
負債合計	19,303,416	18,103,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	327,893	327,893
資本剰余金	263,954	263,954
利益剰余金	3,804,902	3,687,100
自己株式	△695,920	△695,920
株主資本合計	3,700,829	3,583,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,058	28,646
為替換算調整勘定	63,119	37,889
退職給付に係る調整累計額	△50,332	△43,650
その他の包括利益累計額合計	42,844	22,885
純資産合計	3,743,674	3,605,912
負債純資産合計	23,047,090	21,709,306

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
売上高	11,237,833	11,317,643
売上原価	8,687,712	9,137,007
売上総利益	2,550,120	2,180,635
販売費及び一般管理費	2,195,142	2,133,830
営業利益	354,978	46,805
営業外収益		
受取利息	917	1,184
受取配当金	1,794	1,652
為替差益	—	26,254
貸倒引当金戻入額	479	147
補助金収入	65,001	91,869
持分法による投資利益	—	942
助成金収入	—	88,796
雑収入	18,755	28,215
営業外収益合計	86,948	239,063
営業外費用		
支払利息	64,763	73,829
為替差損	8,668	—
持分法による投資損失	1,333	—
雑損失	269	3,382
営業外費用合計	75,033	77,211
経常利益	366,893	208,657
特別利益		
固定資産売却益	—	4,277
投資有価証券売却益	189	—
特別利益合計	189	4,277
特別損失		
減損損失	12,432	23,259
固定資産除却損	55	11,050
賃貸借契約解約損	—	4,900
訴訟関連損失	7,000	—
特別損失合計	19,488	39,209
税金等調整前四半期純利益	347,594	173,726
法人税、住民税及び事業税	285,365	251,397
法人税等調整額	△60,453	△109,978
法人税等合計	224,911	141,419
四半期純利益	122,683	32,306
親会社株主に帰属する四半期純利益	122,683	32,306

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	122,683	32,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,460	△1,411
為替換算調整勘定	2,910	△24,110
退職給付に係る調整額	6,534	6,681
持分法適用会社に対する持分相当額	101	△1,119
その他の包括利益合計	15,006	△19,959
四半期包括利益	137,689	12,347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	137,689	12,347

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	347,594	173,726
減価償却費	370,994	436,666
減損損失	12,432	23,259
のれん償却額	160,210	153,053
長期前払費用償却額	11,765	14,942
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	70,628	31,634
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,847	7,735
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,778	4,346
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,684	△5,100
受取利息及び受取配当金	△2,711	△2,836
支払利息	64,763	73,829
固定資産売却損益 (△は益)	—	△4,277
固定資産除却損	55	11,050
補助金収入	△65,001	△91,869
持分法による投資損益 (△は益)	1,333	△942
売上債権の増減額 (△は増加)	△42,917	△37,387
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,008	9,439
前受金の増減額 (△は減少)	△1,585	28,963
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,140	△12,491
未払消費税等の増減額 (△は減少)	44,179	△32,158
未払金の増減額 (△は減少)	218,803	39,696
未払費用の増減額 (△は減少)	65,171	81,241
その他	33,533	31,949
小計	1,328,708	934,469
利息及び配当金の受取額	2,673	2,896
利息の支払額	△64,727	△65,202
法人税等の支払額	△280,249	△92,649
補助金の受取額	23,671	35,731
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,010,076	815,245

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△26,400	△26,400
定期預金の払戻による収入	37,265	5,400
有形固定資産の取得による支出	△673,418	△171,582
無形固定資産の取得による支出	△20,886	△56,781
敷金及び保証金の差入による支出	△102,778	△71,899
敷金及び保証金の回収による収入	2,632	21,094
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△6,942	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	15,533
長期前払費用の取得による支出	△30,205	△35,680
資産除去債務の履行による支出	△1,600	△9,062
その他	4,110	11,425
投資活動によるキャッシュ・フロー	△818,222	△317,953
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△216,060	△1,559,869
長期借入れによる収入	800,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△1,144,853	△830,407
リース債務の返済による支出	△40,887	△38,309
配当金の支払額	△141,851	△149,725
財務活動によるキャッシュ・フロー	△743,652	△2,178,311
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,410	2,198
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△559,209	△1,678,821
現金及び現金同等物の期首残高	3,193,445	4,747,511
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,634,236	3,068,690

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	学習塾事業	語学関連事業	保育・介護事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,582,837	1,689,667	3,963,406	11,235,912	1,920	11,237,833
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,582,837	1,689,667	3,963,406	11,235,912	1,920	11,237,833
セグメント利益又は損失 (△)	1,122,221	△169,401	2,479	955,300	△600,322	354,978

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△600,322千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△654,518千円及びその他の調整額54,196千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	学習塾事業	語学関連事業	保育・介護事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,463,685	1,162,731	4,691,215	11,317,632	11	11,317,643
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,260	—	4,260	△4,260	—
計	5,463,685	1,166,991	4,691,215	11,321,892	△4,249	11,317,643
セグメント利益又は損 失(△)	1,144,323	△399,053	△174,384	570,885	△524,079	46,805

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△524,079千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△631,732千円及びその他の調整額107,653千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。